

各位

会社名 シチズン時計株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 敏彦
 (コード番号 7762 東証第1部)
 問合せ先 取締役 広報IR室担当 古川 敏之
 (TEL 042-468-4934)

特別損失の計上及び 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年5月13日に開催の取締役会において、特別損失の計上を承認しましたので下記のとおりお知らせいたします。これに伴い、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)通期において特別損失を計上したことにより、通期個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、中期経営計画「シチズングローバルプラン2018」で掲げたマルチブランド戦略の加速を図るべく、2016年にFrederique Constant Holdingグループを買収しました。しかしながら、買収後の体制整備に時間を要したことで、当初想定していた進捗との乖離が発生したため、個別決算において、Frederique Constant Holding SA株式等にかかる投資損失引当金繰入額6,419百万円を計上したこと等により、通期で7,300百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 通期個別業績及び前期実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 差異の内容

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	100,965	9,833	9,731	30円58銭
当期実績(B)	100,055	10,818	4,876	15円32銭
増減額(B-A)	△909	984	△4,855	—
増減率(%)	△0.9	10.0	△49.9	—

(2) 差異の理由

売上高につきましては、ウォッチ販売のうち、「CITIZEN」ブランドの国内市場は、高価格帯製品のうち「The CITIZEN」等が伸長したほか、中価格帯製品についても「xC」、「ATTESA」、「PROMASTER」等の主力製品が好調を維持した一方で、ムーブメント販売は、依然として市場の回復に力強さを欠く厳しい環境が続く中、高付加価値商品の需要が伸び悩む等したことから、前期実績を下回りました。

経常利益につきましては、受取配当が増加したこと等で前期実績を上回りました。

当期純利益につきましては、上記1のとおり、特別損失の計上等により前期実績を下回りました。

以上